



平成22年10月29日

各 位

上場会社名 全日本空輸株式会社
 代表者 代表取締役社長 伊東 信一郎
 (コード番号 9202)
 問合せ先責任者 総務部長 丹治 康夫
 (TEL 03-6735-1001)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年10月29日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年4月30日に公表した平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,360,000	42,000	13,000	5,000	1.99
今回発表予想(B)	1,377,000	70,000	37,000	6,000	2.39
増減額(B-A)	17,000	28,000	24,000	1,000	
増減率(%)	1.3	66.7	184.6	20.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,228,353	△54,247	△86,303	△57,387	△24.67

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,190,000	36,000	10,000	4,000	1.60
今回発表予想(B)	1,206,000	62,000	31,000	4,500	1.79
増減額(B-A)	16,000	26,000	21,000	500	
増減率(%)	1.3	72.2	210.0	12.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,072,967	△61,230	△90,205	△58,751	△25.25

修正の理由

上半期業績につきましては、アイスランドの火山噴火やタイの政情不安等による一時的な影響は受けたものの、世界的な景気後退局面からの回復傾向が見られる中、企業収益の改善に伴いビジネス旅客需要が増加したことや、景気回復を

受けて貨物の荷動きに改善が見られたことから、旅客・貨物ともに当初計画と比べて好調に推移しました。

下半期につきましては、当第3四半期のスタートは順調であります。日本経済におけるデフレ状況、急激な円高進行、海外景気の下振れ懸念等が企業業績に与える影響等、想定される不透明感を織り込んだ上で、引き続き需給適合を行いながら競争力強化、需要喚起に努めると共に、羽田空港からの路線展開という最大のビジネスチャンスを実に捉えてまいります。

費用面につきましては、「ANAグループ2010-11年度経営戦略」に掲げた約860億円のコスト構造改革を遂行し、急激な環境変化への耐性を持つ企業体質への転換を継続して進めてまいります。

また、平成23年3月期第2四半期において、米国・太平洋路線での国際航空輸送に係わる米国司法省との合意および国際航空貨物に係わる集団民事訴訟の解決に際し、69億円を和解金相当額として特別損失にて引き当てたことその他、投資有価証券評価損や資産除去債務に関わる影響額等を特別損失として計上しております。

以上のことから、平成23年3月期の通期連結業績予想につきまして、上表のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提として、第3四半期以降の米ドル円為替レートを90円、航空燃油費の指標であるドバイ原油の市場価格を1バレルあたり80米ドル、シンガポール・ケロシンを1バレルあたり90米ドルとしています。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上